

伊豆諸島で繁殖している ツバメを調べよう！

申請者：重原美智子

■ はじめに ■

私は、2016年の春から『小笠原諸島～伊豆諸島 ツバメの渡り調査』という調査をおこなっています。2018年からは、各島の調査に協力してくださる方からツバメの観察記録を集めてツバメの春の北上や秋の南下の様子を探っています。いままでに調査範囲内の有人島の11の島や、仕事で無人島を訪れた方から届いた記録から、春のツバメの初認日は、南に位置する島の方が北に位置する島より早い傾向であることがわかりました。このことから春に小笠原諸島や伊豆諸島で観察されるツバメは、迷鳥などではなく、さらに南にある越冬地から飛来して繁殖地へ向かうための渡りをしているのではないかと考えています。また、ツバメは伊豆諸島のいくつかの島では繁殖していることがわかっています。

■ 目的 ■

2018～2020年の5月から8月にかけて、大島、利島、新島、式根島、神津島、三宅島、御蔵島などからツバメが繁殖している観察記録が届きました。けれども、巣の数や、繁殖開始の日いち、繁殖回数、ねぐらが島にあるのかどうかなどはまだよくわかっていないのでそれらを調べるのが目的です。

■ 調査地 ■

伊豆諸島のツバメが繁殖している島々のうち、繁殖期に天候、日程、繁殖情報などの状況を考慮して2島か3島を選んで調査する。三宅島、神津島のほか巣が見つかった島の予定。

■ 伊豆諸島のツバメの巣 ■

2018～2019年に観察された巣の例



利島の港で、観察されたつがいの2羽



神津島のツバメの巣



三宅島の車庫のツバメの巣。車を汚さないように傘で糞よけが設置してある



6月中旬の三宅島。抱卵中や孵化したばかりの巣が多かった

■ 調査方法 ■

実際に島を訪問し、まず聞き取り調査を行う。次に地元の方に協力していただきながら繁殖しているツバメや巣を観察し、周囲の環境なども調べる。

■ 期待される成果 ■

巣を観察しただけではそのツバメたちがどこから飛来したのかはわかりませんが、繁殖調査と並行して2018年～2020年と同様に調査範囲の小笠原、伊豆諸島の島全体の飛来した日時や羽数の記録も集めます。島ごとの初認された日やツバメが多く飛来する時期と、その島の環境、繁殖開始時期や巣の数、繁殖回数などを比較することができれば島ごとの特徴やツバメがどのようにその島で生きているのか見えてくるのではないかと考えています。

■ 助成金の使途 ■

島へ渡るための交通費、宿泊費、チラシ製作費、現地でのレンタバイクなどの経費などのほか、島で観察されるツバメの生態を少しでも明らかにすることによって、ツバメや野鳥に親しみや関心を持つ人が増えるような活動のために使用したいです。